

平成 28 年度 第 3 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 28 年 11 月 24 日（木）18 時～19 時 10 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（伊勢市）辻企画調整課長（鳥羽市）山本企画経営室長（志摩市）沢村総合政策課長（玉城町）中川総合戦略課係長（大紀町）田中企画調整課長（明和町）朝倉防災企画課企画担当係長（三重銀総研）伊藤専務取締役（大学）齋藤教授、櫻井教授、筒井教授、笠原教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、池山助教、木村企画部長、森企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員
*欠席（度会町）中井政策調整課長（南伊勢町）西村行政経営課長

【議 題】

1. 平成 29 年度『伊勢志摩共生学』、『伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』担当者・内容について

齋藤教授より平成 29 年度の『伊勢志摩共生学』、『伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』担当者および内容について、説明がなされた。（配布資料参照）

（1）伊勢志摩共生学

- ・これまで本居宣長記念館など、伊勢の国学に関する所を全学が参拝見学の行き先としていたが、今年度からその行き先を学部単位で決定することになり、文学部だけが国学関係の遺跡へ行くこととなった。このため、来年度からは「伊勢と国学」というテーマの授業回を「伊勢の言葉」（担当：齋藤教授）へ変更して実施する。
- ・学長担当の「建国記念の日と伊勢」についても来年度からは内容を切り替えて実施。内容等は現在検討中のため、今後改めてご相談させていただきたい。

（2）科目Ⅰ・Ⅱ

- ・今年度どおりに進めていく予定である。

（3）科目Ⅲ・Ⅳ

- ・今年度 3 クラス（近藤、千田、三重銀総研担当クラス）を設定し、また曜日を水曜日に変更したところ、受講生が拡散してしまい、三重銀総研様には非常にご迷惑をおかけした。この反省から、来年度は金曜日Ⅳ時間目に時間割を戻し、三重銀総研様担当の 1 クラスとしたい。

（4）伊勢志摩共生学実習：地域インターンシップ

- ・今年度の科目Ⅲ、Ⅳの近藤・千田クラスを来年度共生学実習へ振分け。
- ・実習クラスが非常に多岐にわたる（11 クラス）が、内容は今年度と変更なし（A～D）。
- ・Dについては三重大学「COC+」および県「高等教育コンソーシアムみえ」での共同開講科目をそれぞれ 1 つずつ増やす。担当はいずれも池山助教。受講生を募集してみないとわからないが、受講生があれば開講するという形で進めたい。

※授業時間について

- 来年度からは、始業時間がこれまでの9時から9時30分へ30分繰り下がる為、共生学Ⅰ・Ⅱの授業開始時刻が**13時30分**となる（終了時刻15時）。この点、ご承知おきいただきたい。また、科目Ⅲ・Ⅳについても従来社会人対応と言うことで5時間目としていたが、30分授業時間繰り下げられることから来年度は**4時間目**とさせていただきたい。

（問）科目Ⅲがセメスター4、科目Ⅳがセメスター3となっているが？

（答）豊橋科学技術大が「6次産業化論」、「1・2・3次産業基本論」の授業を行った際、「1・2・3次産業基本論」に先立って「6次産業化論」を行ったほうがよいとのアンケート結果が得られたのを受けて、Ⅳを春学期、Ⅲを秋学期に行うこととしている。

（配布資料の）3セメスターに○が振ってあるものについては、2年生の春学期以降に履修ができるということで当然3、4年生も履修が可能である。

＜三重銀総研伊藤専務ご発言＞

学生への提示の仕方として、科目Ⅳが春学期、科目Ⅲが秋学期に開講されるということをしかりとア
ナウンスいただくよう、ぜひお願いしたい。

審議の結果、異議なく了承された。

2. 『伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ・Ⅱ』テキスト内容について

板井准教授から配布資料に基づき説明がなされた。

- テキストはきるだけタイムリーなデータを掲載してゆけるように、印刷物ではなく電子媒体での作成としている。
- 90分の講義を受けるに当たって、知っているとより学びが深まるような内容にすることを目的に講義毎に作成。具体的な内容としては、科目Ⅰ・Ⅱそれぞれ15回の講義、計30回分を1回あたり1シートとしてテキストに落とし込んでいく。学生には授業を受ける前にこのテキストを読んでおくよう指示し、事前学修の意味を持たせていきたい。

（市町委員への審議事項）

一般の方が学外から閲覧することはないことを踏まえた上で、ゲストとしてお越しいただいた際に各市町から紹介いただいた資料をテキストに掲載させていただくことをご了承いただけるか。

（問）テキストはH29年度の授業のために作成するということでしょうか。

（答）H29年度の授業内容は概ねH28年度をベースとするため、テキストは今年度の授業をもとに作成する。来年度の授業内容に変更があった場合など、必要に応じて直前の差替えも可能である。

（問）H29年度の市町担当回数はH28年度と同じペースと考えてよいのか。

（答）ご担当いただく授業回、授業日については次回2月の運営会議で、科目Ⅰ～Ⅳの実施概要案（配布

資料：皇學館大学 COC 事業報告書 2 p.12～15 参照) としてお示しさせていただく。

審議の結果、異議なく了承された。

3. 平成 29 年度科目Ⅲ・Ⅳ教材編集体制について

＜三重銀総研伊藤専務ご発言＞

- ・テキストを学生への印刷物としての配布することについては問題ないとする。また、授業で使用する資料のデータは毎年更新しているため、印刷物とすることによるデータの陳腐化も問題ないとする。
- ・科目Ⅲについては、科目Ⅰ、Ⅱテキストのシートと同様に4つの事象としてまとめるのは難しいのではないかと懸念。

科目Ⅲ・Ⅳのテキスト編集については、どのような形式とするか等、齋藤教授、伊藤専務、別府部長の3者で改めて検討し、運営会議としても継続審議とする。

審議の結果、異議なく了承された。

4. 平成 29 年度『伊勢志摩共生学実習(地域インターンシップ)A～D』の実習内容について

齋藤教授より説明がなされた。

- ・共生学実習A、B、C、D【b】はH28年度と同じ内容。D【a】については現在検討中。
- ・近藤准教授、千田准教授担当クラスについては通年で受講できるようにすることを考慮しての組み合わせである。

(近藤 春：A【b】→秋：B【a】、千田：春：A【a】→秋：B【b】)

審議の結果、異議なく了解された。

5. 平成 30 年度からのJMOOC等による講座配信のための準備について

齋藤教授より説明がなされた。

事業計画段階では JMOOC を利用しての講義内容配信としていたが、授業風景をそのまま録画・配信するだけでは講座の配信としては不十分であり、90分の講義内容を15～20分程度の番組として新たに作成する方が効率的であると考えている。

(市町委員への審議事項)

それぞれの市町でお持ちの行政チャンネルを年間2コマ程度、上記番組の時間に割り当てていただくことは可能か。1つの番組の中に5～10分程度のコーナーとしていただいても可である。

→出席いただいた市町(伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、大紀町、明和町)からは「可能である」との回答。

各市町にて行政チャンネルの枠をお持ちで、テキストの内容(=講義ベースの内容)であれば放映の計画に入れていただくことは可能であるという回答をいただいたので、今後は内容について詰めていきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

6. 伊勢志摩みらいづくり調査進捗状況

筒井教授および板井准教授より、現在までの進捗状況等の説明がなされた。

- ・中学校、高校については10月15日にアンケートを発送し、現時点（11/24）でほぼ返送いただいている。大学については、現在実施中。
- ・データ集計を業者に委託しており、集計されたデータをもとに分析を行う。早ければ年明け1月に結果の第1報をお示しできるように分析を進めていきたい。
- ・学校毎にデータのフィードバックをしてほしいとのリクエストをいただいた教育委員会もあったが、生徒数が少なく1クラスしかないような学校もあり、データから個人情報特定される懸念を払拭できない為、今回の調査については学校毎のフィードバックは実施しないと回答させていただいていることをご承知おきいただきたい。ただし、市町毎のデータについてはフィードバックさせていただく。
- ・一部の特別支援学校から障がいのある学生が答えられにくい調査設計となっているというご指摘をいただいた。真摯に受け止め、調査設計を検討したいと考えている。

審議の結果、異議なく了解された。

7. その他

特になし。

【報告】

1. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)平成28年度評価 報告

齋藤教授より報告がなされた。

- ・これまでに書類審査、面接調査が実施され、面接調査には学長、齋藤教授、池山助教、木村企画部長、森地域連携室長が出席した。

<木村企画部長補足>

- ・3市5町の行政の方々と連携して授業を実施している点、CLL、共生学実習等連携がよくとられている点について評価いただいた。実地調査を実施しないとの回答をすでにいただいているが、正式な評価結果は11月末に書面にてなされることとなっている。

異議なく了解された。

2. 第2回皇學館大学 地(知)の拠点整備事業公開シンポジウム(9月4日開催)

齋藤教授より配布資料に基づき、説明および報告がなされた。

- ・志摩市長にご挨拶をいただいた。シンポジウムの内容については報告書をご参照いただきたい。
- ・参加者アンケートでは、「シンポジウムに参加してよかった」とする割合が前年度に比べて下がってはいるが、概ね肯定的な評価をいただいたと考えている。

異議なく了解された。

3. 文部科学省統一指標 FU(フォローアップ)アンケート再実施の結果報告

齋藤教授より配布資料に基づき、説明および報告がなされた。

- ・ 9月20日から再度アンケートを実施したが、教育学部が教育実習期間中ということもあり、回答率が低下する結果となった。

＜木村部長補足説明＞

- ・ 初回アンケート時、質問項目にミスがあった為正確を期して再度調査を行ったが、当然初回よりも回答者数が大きく下がる為、当初目論んだような数字ではなかった。次年度への反省としてご報告申し上げます。

異議なく了解された。

4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅲ・Ⅳ(三重銀総研)』科目等履修生

齋藤教授より説明がなされた。

- ・ 学生の受講が分散したり、時間割上の問題で昨年度よりも受講生が減少した。これを補う為に関係機関にご協力をお願いしたところ、科目Ⅲ6名、科目Ⅳ5名、スポット履修2名の社会人の方に来ていただけることとなった。

＜三重銀総研伊藤専務ご発言＞

- ・ 聴講生が参加してくれているので、授業では社会人と学生との議論も行っている。
- ・ 科目ⅢⅣの社会人募集について、三重銀総研として協力できることがあれば言ってほしい。

異議なく了解された。

5. CLL 活動進捗状況

齋藤教授より説明がなされた。

- ・ 11月21日現在で、19活動148名の参加学生である。
- ・ 2年目にして大きく発展しており、これは自治体の皆様のご努力の賜物。感謝申し上げます。

異議なく了解された。

6. その他

特になし。

*次回日程

次回（H28年度 第4回）運営会議は、

平成29年2月23日（木）18時～ 皇學館大学 9号館 1F（911）にて開催される
ことが確認された。

以上